

♪「デュオ」は英語で二重唱(奏)の意味です。

実践企業に聞く

特集2
イクボス
● 中国銀行



特集1 岡山市に 「イクボス」の輪を

コウテイペンギン
命がけで卵を温め、ヒナをかえす“おとうさん”

南極に生息するコウテイペンギンは、メスは卵を産むと、エサを求め海へ出ます。その間、卵を温めふ化させるのはオスの役目。氷点下60℃にもなる冬の氷原上で約2か月間、ヒナがかえり、メスが戻ってくるまで卵を温め続けます。

「イクボス」の輪を

男女共同参画社会の形成の促進に関する事業者表彰

岡山市は雇用の分野における男女共同参画の形成の促進を図るために、積極的な取り組みを行っている事業者を表彰しています。

平成28年度受賞事業者のご紹介

株式会社 天満屋 (代表取締役 伊原木 一郎 氏)

仕事と子育ての両立を支援するため、選択できる育児短時間勤務制度や、契約社員から正社員への転換制度など、多様で柔軟な働き方を取り入れ、その制度が十分に活用され、女性が結婚や子育てなどライフステージに応じてキャリアを継続できるよう取り組みを進めておられます。

また、アニバーサリー休暇制度を導入して有給休暇取得促進に取り組むとともに、男性の育児休業取得促進に向けて、管理職を対象に普及会を開催し、制度の周知徹底や啓発に努めていることを高く評価しました。



「さんかく岡山」団体・グループ登録制度のご案内

さんかく岡山では、男女共同参画社会の実現をめざして活動する市民の団体・グループが、より便利に、より効果的に施設の機能を活用できるよう団体・グループの登録制度を設けています。

- **登録できる団体** 以下の①から⑥の要件をすべて満たす団体とします。
 - ①男女共同参画社会の実現に向けて活動している、または男女共同参画に理解のある団体。
 - ②規約等を備えるなど組織体制があること。
 - ③原則として団体構成員の1 / 2以上が市内在住・在勤・在学であり、岡山市を主な活動場所としていること。
 - ④団体構成員が5人以上いること。
 - ⑤活動実績が定期的かつ継続して6ヶ月以上あり、今後も継続して活動する見込みがあること。
 - ⑥営利、宗教、政治的な活動を目的としていないこと。
- **登録料 無料**
- **登録方法** 下記ホームページまたはQRコードから申込書をダウンロードして、「さんかく岡山」まで。http://www.city.okayama.jp/shimin/danjo/danjo_00072.html 詳しくは「さんかく岡山」Tel086-803-3355へお問い合わせください。

登録団体には
7つの特典があります!



各種講座案内等の
情報提供



会議室使用料の減額

情報コーナーの利用

印刷機の利用

メールボックスの利用
(多数の場合は抽選)

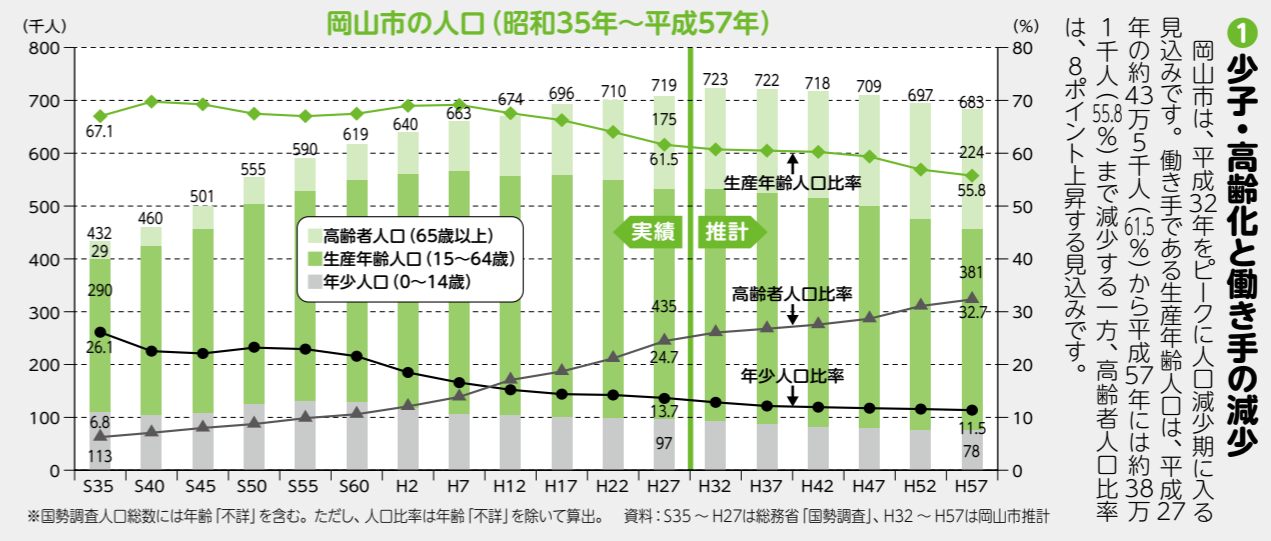
会議室利用申請
7ヶ月前から可

ミーティングルーム利用
申請3ヶ月前から可

この情報誌は、岡山市と市民公募の編集委員が協働で企画・編集を行いました。

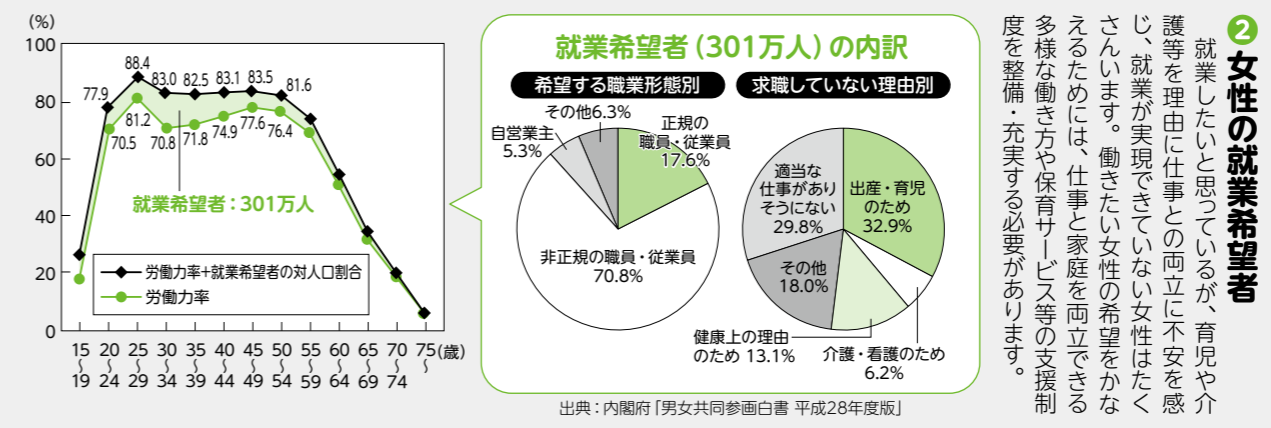
● データで見るイクボスの必要性

日本の人口は減少局面を迎えています。少子・高齢化は確実に進行し、働き手が減少する一方で、介護に従事する社員が増えていきます。労働力の確保が難しい時代がやってくるのです。これは、岡山市でも例外ではありません。また、女性の労働意欲の高まり等から、共働き世帯も今まで以上に増加する見込みとなっています。このような社会的背景の中、誰もが働き続けるためには、ワーク・ライフ・バランスの実現や、女性が活躍できる職場づくりを推進する「イクボス」が必要と考えられています。

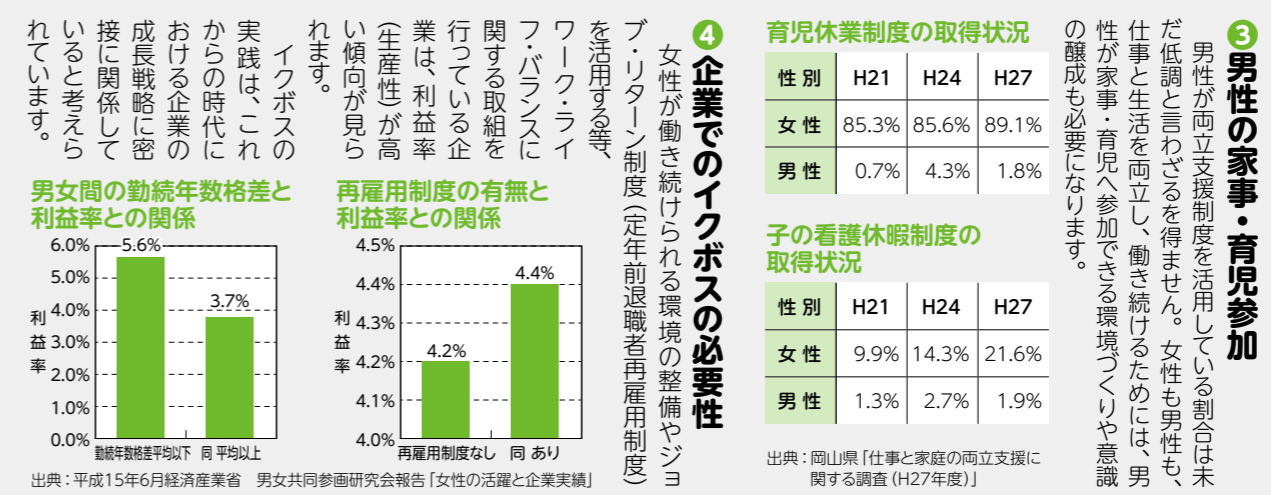


① 少子・高齢化と働き手の減少

岡山市は、平成32年をピークに人口減少期に入る見込みです。働き手である生産年齢人口は、平成27年の約43万5千人(61.5%)から平成57年には約38万人(55.8%)まで減少する一方、高齢者人口比率は、8ポイント上昇する見込みです。



就業したいと思っているが、育児や介護等を理由に仕事との両立に不安を感じ、就業が実現できていない女性はたくさんいます。働きたい女性の希望をかなえるためには、仕事と家庭を両立できる多様な働き方や保育サービス等の支援制度を整備・充実する必要があります。



④ 企業でのイクボスの必要性

女性が働き続けられる環境の整備やジョブ・リターン制度(定年前退職者再雇用制度)を活用する等、ワーク・ライフ・バランスに関する取組を行っている企業は、利益率(生産性)が高い傾向が見られます。

男女間の勤続年数格差と利益率との関係

勤続年数格差平均以下	5.6%
同平均以上	3.7%

再雇用制度の有無と利益率との関係

再雇用制度なし	4.2%
同あり	4.4%

● 岡山市役所…イクボスやっています!!

岡山市長メッセージ



岡山市長 大森 雅夫

女性が様々な分野において、自らの意思で希望をかなえることができ、男女がともに多様な生き方を実践でき、豊かで活力ある社会にもつながる

岡山市では活力ある地域社会の形成のため、若者や女性の力が社会の中で最大限に発揮されるよう、「安心して子育てができ、若者や女性が輝くまちづくり」を目指して、様々な取組を行っています。

その取組の一つとして、「隼より始めよ」の精神のもと、市役所の中でも、まずは管理職自らが「イクボス」であるという意識を持ち、職員のパフォーマンスを高めることに、仕事と家事、子育て、介護等を両立できる環境を整備する決

意表明が重要と考え、平成28年6月1日に、市長・副市長を含む課長級以上の職員と学校長が一堂に会し、「岡山市イクボス宣言」を行いました。

この宣言では、具体的な数値目標と実践10か条を定めて、単なる「宣言」に終わることなく、イクボスを具体的に実践していくことを明言しています。

まず、女性が意識啓発や能力開発等に関する研修に積極的に参加できるように支援することで、キャリア形成と人材育成を図るとともに、全ての職員が家事や育児・介護等の負担に対する理解を今まで以上に深めていく。仕事と家庭を両立できる働き方の見直しや職場環境の整備を進め、女性の力を最大限に活かせる市役所にしていきたい。そんな思いが、「この岡山市イクボス宣言」と実践10か条に込められています。

また、この実践10か条には、イクボス自身の自己啓発と地域貢献についても盛り込んでいます。職員も当然ながら市民の一人であり、管理職自らも仕事と生活の調和を実践する中で、積

極的に地域活動に参加し、地域への貢献度を高めていくことが重要です。「地域の担い手としての役割を積極的に果たしていく」という職員一人ひとりの思いを後押ししていきます。

さらに、女性活躍推進の重要性について、地元企業や経済団体、NPOなどの連携を進めながら、広く発信していきたいと考えており、政令指定都市として、圏域の中核都市として、市役所から地域へ、ひいては社会全体へと、イクボス精神と働き方改革の広がりを力強く牽引していきたいと思っています。



岡山市イクボス宣言

私は、職員一人ひとりが仕事と生活の調和を実現することにより、職員のパフォーマンスを高めるとともに、充実した人生を送ることができるよう、次の事項に真剣に取り組む「イクボス」となることをここに宣言します

1. 仕事と家事・子育て・介護などが両立できる職場環境の整備に努めます
2. 効率的・効果的な業務執行のための働き方改革を積極的に推進します
3. 女性職員のキャリア形成と人材育成に努め、活躍を推進します
4. 自らも仕事と生活の調和の実践者として、充実した人生を歩みます

岡山市役所イクボス宣言



桃太郎のまち岡山 イクボス宣言! 平成28年6月1日



中国銀行 取締役頭取
宮長 雅人氏

人口の減少や少子高齢化の進行など地域の社会構造が変化する中、企業を取り巻く環境は一段と厳しくなりつつあります。こうした環境下において、従業員一人ひとりが、いかにいきいきと前向きに働くことが出来るかということが、企業にとって経営課題であることと認識しています。そのためには、様々な制約を抱えた従業員も含めお互いを理解・尊重し、多様性を活かしチームとして成果を出すことの出来る組織にならなければなりません。これを実践するために経営者自ら先頭に立ってイクボス宣言を致しました。

ダイバーシティへの取組は、決して女性だけの問題ではありません。男性も含め企業は、多様な価値観や働き方を認め、活躍出来る場の提供をしていく必要があります。そのことは、地域を活性化し、何よりも一人ひとりの幸せに通じるのではないかと思います。是非、みんなで力を合わせて一歩を踏み出していきましょう。



育児休業をとって子どもの世話をする太田さん

私が育児休業を取得したのは、第三子の出生がきっかけでした。上の二人の育児と妻の精神的な支えになればと思い、取得しました。部下を持つ立場として自らが率先して育児を取得することが、男性従業員が育児を取得しやすい環境づくりに繋がると考えました。

生まれたばかりの子が集中治療室に入ったこともあり、妻はもろろん、子ども達も想像以上に不安を抱えていることに気付きました。傍にいてやれたことで父親として存在意義を感じることで、産後育児への積極的参加のために男性の育児取得は必要だと思いました。家族や両親にとっても喜ばれ、銀行も最近では男性にも育児を取らせてくれるのね」と感心されたことも印象的でした。

育休中や復帰後の仕事は職場の上司や同僚達にフォローをしていただきま

イクボス宣言をした背景は

「少子高齢化が進み、新規採用も厳しくなってきた中で、従業員にいかんがいきと働いてもらえるかが、大きな経営課題となっていました。『ちゅうぎんの心』(役職員の行動規範)をもとに、従業員が仕事を通じて夢を実現するためのサポートをしています。育児や介護をはじめ、色々な事情を持つ従業員がいます。その中でワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)、つまり自分の家庭や生活を守りながら、仕事もできるという体制をつくる必要があると考えています。トップ(頭取)も『従業員に幸せになってもらわない』という考えであり、イクボス宣言を行い、イクボス企業同盟に参加させていただきました」



編集委員のインタビューを受ける
原田部長さん(中国銀行応接室)

イクボス宣言後、社内に何か変化は

「イクボスを強制しているわけではなく、『共感できる人は各現場で宣言してください』というスタンスであり、変化について具体的に説明することは難しいですが、地道に行っていくことで、変化はこれから見えてくると思います。イクボスの根底にあるのは、いかに生産性を上げるかというこ

長時間労働を是正し、成果を出す

中国銀行 執行役員 人事部部長 原田 育秀 氏

と。単に家庭だけを大事にするということではなく、長時間労働を是正し、いかに早く仕事を終わらせてきちんと成果を出すか。まず、管理職からそういった文化を広めているところです」

「ワーク・ライフ・バランスや女性活躍への取組を経営にどう反映させていくのか。そして、これからの取組で何か成果が

「女性の活躍は、福利厚生や女性の優遇という意識ではなく、女性目線での経営参画により企業価値が上がり、業績向上や生産性向上にもつながるという考えです。そして、生産性の向上は、働き方改革にもつながります。その一環として、時間単位有給休暇制度や男性の育児休業取得の原則義務化を導入いたしました。男性の育児休業については、平成27年12月の運用開始以降、平成28年11月末時点での累計で73人が取得し、男性も育児に参加するという意識になってきたのではないかと成果を感じています」

イクボス宣言に伴い、組織改革などの予定は

「将来を見据え、既に平成27年6月に『NEXT10推進室』を立ち上げて、CS(お客さま満足)やES(従業員満足)、ダイバーシティの推進などを一元的に取り組んでいます」

今後の課題はどうか

「まず従業員の意識改革を進めていかなければなりません。そして、新たな文化の中でいかに生産性を向上させていくのかが、具体的な課題になってくると考えています」

育児休業を取得した太田さん 父親として存在意義を実感

中国銀行福浜支店 支店長代理 太田 雅之 氏

した。また、子どもの体も気遣ってもらう等、職場の反応はとても温かいものでした。

男性の育児取得は時代の流れであり、各社で取組をしているものの、多くの職場ではまだ育児は取りにくいという雰囲気があるのではないかと思います。現在は核家族が進み、以前の様な両親等の育児協力が困難である家庭が多くなっています。今後より一層核家族化が進んでいく中で、父親の育児参加は不可欠であると思います。

家庭が安定してこそ仕事にも専念できるわけですし、私のような中間管理職が積極的に育児取得に取り組むことで、育児取得は当然であるとの考え方を浸透させていく必要があるのではないのでしょうか。そして、実際に育児を取得した方の声を数多く発信し続けていくことが今後の育児取得をする方々の後押しに繋がるのではないかと思います。



編集を終えて

編集委員の感想

取り組み始めた課題

普段出来ない貴重な経験・勉強の場となりました。「男女共同参画」の意識改革は社会全体に浸透はしてきましたが、実践に向けた取り組みは始まったばかりという印象も持ちました。私達一人ひとりがどの様な社会を目指すのか問われている時代だとも思います。(安藤 優子)

新時代の上司!

岡山市のことを本当に知らなかったと実感。大森市長のイクボス宣言をたくさんの方々に知ってもらいたい。男女共同参画はとても平和で素晴らしいものだと思えることが出来ました。DUOを一人でもたくさんの方に読んでもらえたら幸いです。(清水リカ)

重要なテーマ

少子高齢化が進み、色々な歪が生じてきた。これを打開するため男女共同参画社会の実現が叫ばれている。この一策としてイクボス宣言し働き方を見直す動きが出てきた。DUOの編集を通し重要なテーマだと改めて痛感した次第である。(藤田 学)

尊重し合う社会

三児の母として子供達が成人した時、幸福感のある社会になっていけば!という思いで務めさせて頂きました。言葉にすると難しいですが、会議を通じて男女共にお互いへの感謝を忘れず助け合っていく社会が一番大切だと実感しました。まず、旦那さんに感謝です。(水内 理恵子)

奥深いテーマと実感

初めての参加でしたが、岡山市や企業様の活動を垣間見ることができ、多くの気づきをいただくことができました。また、企業の人事部長様へのインタビューはとても貴重な経験となりました。(山本 名保美)

レポート

さんかく岡山へ行こう!



「さんかく岡山」は、年齢や性別を問わず、どなたでもお気軽にご利用いただける施設です。岡山市の男女共同参画を推進するための活動拠点になっていて、関連する様々なイベントも開催しています。ぜひ、立ち寄ってみてください!

啓発講座

性別や年齢に関係なく、幅広い方を対象とした講座を開いています。

市民協働事業

男女共同参画に関する事業を市民のみなさんと協働して行っています。

さんかくカレッジ

男女共同参画に関する知識を学び、地域で活躍できる人を育てる講座です。



会議室
(有料・要予約)
最大100人まで
ご利用いただけます。



ミーティングルーム
(無料・要予約)
3人以上のグループで
3時間まで利用できます。
グループでの自主学習などに
ぜひどうぞ。



展示ギャラリー
(無料・要予約)
市民のみなさんへ
作品を発表できる場を無料で
提供しています。



図書
1回5冊まで。貸出期間は
2週間です。



託児室
(有料・予約制)
生後3ヶ月～就学前のお子さんを
3時間までお預かりします。
買い物などの際にも
ご利用いただけます。

住所 〒700-0822
岡山市北区表町三丁目14-1-201号
(アークスクエア表町2階)

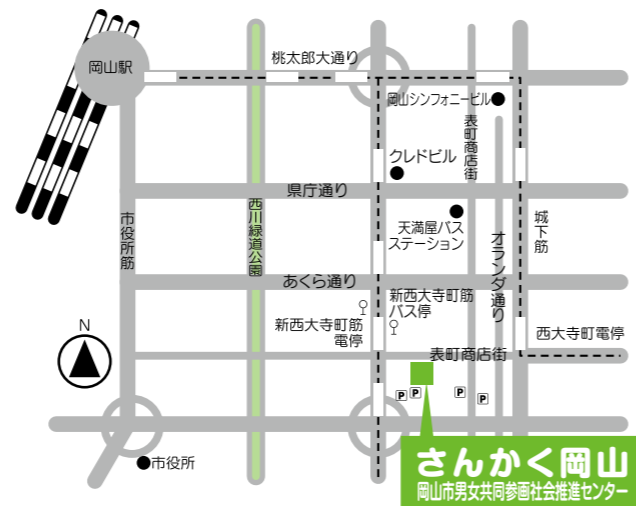
電話 086-803-3355 **[FAX]** 086-803-3344

[E-mail] sankaku@city.okayama.jp

[ホームページ]
http://www.city.okayama.jp/shimin/danjo/danjo_00050.html

[開館時間] 月・水～土 9:30～20:00 日・祝 9:30～17:00

[休館日] 火曜日、年末年始
(火曜日が祝日の場合は開館し、次の平日が休館日となります。)



岡山市男女共同参画相談支援センター

(配偶者暴力相談支援センター)

◆こんなときにはご相談ください◆

- 夫婦や家族関係のことで悩んでいる
- 地域や職場、学校等での人間関係に悩んでいる(セクハラ等)
- 夫(妻)、パートナーから暴力(DV)を受けている 等々



緊急一時保護を行っています。

相談ほっとライン

☎086-803-3366

相談受付時間

月・水～土 10:00～19:30
日・祝 10:00～16:30
休館日:さんかく岡山と同じ

身の危険を感じるような暴力を振るわれたときは、上記受付時間にかかわらず、相談ほっとラインへお電話ください。

告知

さんかくウイーク2017

テーマ『認めあう、さんかく社会 笑顔の輪』

★6/11(日) オープニングイベント ★6/25(日) 記念イベント

岡山市は、性別にかかわらず、あらゆる人々がともに自立し責任を分かち合い、豊かで安心して暮らせる男女共同参画社会の実現をめざしています。毎年6月21日から27日を「さんかくウイーク(男女共同参画推進週間)」と定め、前後1週間を含めた3週間の期間中、男女共同参画への理解を深めていただくためのさまざまな取り組みを行っています。詳しくは平成29年5月上旬に、女性が輝くまちづくり推進課ホームページやさんかく岡山、各区役所、公民館などにチラシを配布してお知らせします。

報告

さんかくウイーク2016

テーマ『さんかく社会 笑顔あつめて 花ひらく』

6/26(日)



記念イベント (市民文化ホール)

さいばりえこ
西原 理恵子さんトークショー

「どんなときも前を向いて

～サイバラ流 仕事と子育て・私生活～

人生のさまざまなハードルを越えるうえで、力を与えてくれたものは何か。自分をとりまく環境がどのように変化しても心折れることなく、しなやかに生き抜くためのヒントをお話しいただきました。

最優秀イラスト



テーマに沿って描かれた浅沼紀美子さんの作品です。

6/5(日) オープニングイベント 於:さんかく岡山 / 企画:さんかくウイーク2016実行委員会

書道パフォーマンス



LGBT啓発シンポジウム



岡山大学グリーンクラブ ミニコンサート



6/18(土) 中央図書館行事

パパも一緒に!
赤ちゃん絵本読み聞かせ体験



6/21(火)～7/4(月) 公民館事業 (興除公民館)

さんかく標語展
～さんかく社会 笑顔あつめて 花ひらく～



6/25(土) 市民協働事業

豪雨災害から男女に命をまもろう
～暗闇の避難体験～

